

国際広報メディア・観光学専攻

観光創造研究コース

令和6年度
前期

日本語論述

10:00～12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
2. 問題紙はこの紙を含めて2枚ある。
3. 解答用紙(25字×40行=1000字)は2枚ある。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出すること。
5. 受験番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 下書き用紙は別途配布されるが、問題用紙の余白を下書きに使用しても差し支えない。
8. 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題について、1600～2000 字の日本語(横書き)で記述しなさい。なお、適当な箇所で改行して段落に分けること。また、字数は改行のための空気を含めて計算する。

近年、SDGs で掲げられている「誰一人取り残さない」という理念を踏まえ、すべての人が安心して楽しめる旅行をめざす動きが広まっています。こうした動きの中で、どのような社会的少数者(マイノリティ)に対して、どのような配慮や受入態勢の整備が必要でしょうか。また、こうした取組が持つ意義は何でしょうか※。具体例を用いながら、あなたの考えを述べなさい。

※年齢や障がいの有無に加え、たとえば性的少数者、先住民族、疾患を持つ人など、他者が把握しにくい社会的少数者(マイノリティ)の旅行者に対する配慮を社会全体で整備すること。